

利活用実践技術研修会
(鳥獣被害対策基盤支援事業)

【開催趣旨】

被害対策で捕獲した個体の処理技術、食肉ビジネスに取り組む上での経営等に関する必要な考え方、捕獲から解体処理、活用までの実践的技術、捕獲から販売流通までの計画立案に必要な応用力を身につける、自ら実践、立案できる人材を育成することを目的とした研修である。

【定員・対象者】

- ・ 定員：各会場20名
 - ・ 地域おこし協力隊員、食肉処理事業者、都道府県・市町村担当職員、改良普及員等
- ※上記以外の職種の方も参加可能。

【受講料】

- ・ 無料（会場までの旅費、宿泊費については、各自で負担。）

【開催スケジュール】（詳細は調整中）

開催年月日	時間	開催場所	対象獣種
平成29年11月8～9日	1泊2日	北海道札幌市	シカ
平成29年11月27～28日	1日目：13:00～17:00	兵庫県丹波市	シカ・イノシシ
平成29年12月15～16日	2日目：9:00～12:00	長崎県諫早市	イノシシ

【研修カリキュラム】

＜北海道会場（北海道大学）＞

○1日目

- ・ 13:00～13:05 挨拶・ガイダンス
- ・ 13:05～13:40 衛生的なシカの解体処理技術
(一般社団法人 エゾシカ協会 井田 宏之氏)
- ・ 14:00～17:00 シカの精肉技術
(北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 若松 純一氏)

○2日目

- ・ 9:00～10:00 シカの肉質および加工品の製造
(北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 若松 純一氏)
- ・ 10:00～11:00 捕獲個体の処理（減容化・ペットフード等）の可能性
(株式会社 一成)
- ・ 11:00～12:00 演習問題
(株式会社 一成)

<兵庫県会場（鹿加工組合丹波、兵庫県森林動物研究センター）>

○1日目

- ・ 13:00～13:05 挨拶・ガイダンス
- ・ 13:05～13:40 被害対策としての食肉等処理システムの考え方
(株式会社 一成)
- ・ 14:00～17:00 鹿加工組合の取り組み及び衛生的なシカの解体処理技術
(株式会社丹波姫もみじ 柳川瀬 正夫氏)

※シカの内臓の検査方法（兵庫県森林動物研究センター 研究部長 横山真弓氏）

○2日目

- ・ 9:00～ 9:30 捕獲鳥獣の食肉等利活用（処理）の手法
(株式会社 一成)
- ・ 9:30～10:10 シカの体の構造と異常発見のための観察ポイント
(兵庫県森林動物研究センター 研究部長 横山 真弓氏)
- ・ 10:20～11:00 微生物による発酵処理技術
(兵庫県森林動物研究センター 主任研究員 山端 直人氏)
- ・ 11:00～12:00 演習問題
(株式会社 一成)

<長崎県会場（東彼杵町総合会館、ハラサングョウ、諫早猪処理販売センター）>

○1日目

- ・ 13:00～13:05 挨拶・ガイダンス
- ・ 13:05～13:50 被害対策としての食肉等処理システムの考え方
(株式会社 一成)
- ・ 13:50～14:50 効率的な捕獲個体の処理、活用システムの現状と課題
(長崎県農林部農山村対策室・農林技術開発センター係長 平田 滋樹氏)
- ・ 15:30～17:00 野生動物のレンダーリング処理技術
(ハラサングョウ株式会社)

○2日目

- ・ 9:00～10:30 衛生的なイノシシの解体処理技術
(調整中)
- ・ 11:00～12:00 演習問題
(株式会社 一成)

【申込み】

申込みは、Web フォームまたは、①氏名、②所属、連絡先 (TEL・E-mail)、
③研修会名・会場名を E-mail・FAX に記入の上、送信してください。

http://www.issei-eco.com/event/2017_gibier_seminar_master.html



【お問い合わせ先】

株式会社一成 環境事業部内 (担当：大山、迫田)

TEL：079-428-0682 FAX：079-428-2427 E-mail：rikatsu29@issei-eco.com